

若者たちに寄り添う、がまごおり若者サポートステーションの 所長・相談員の方に話を聞きました。

今、若者の進路の選択肢や働き方は多様化しています。その中で1人で迷い、考えることに疲れてしまう時があると思います。また、中学・高校など学校で過ごす期間が終わり、社会との接点を失うと、人と関わる機会をなかなか持てずに孤独を感じてしまうこともあるかもしれません。すると、あなただけでなくあなたの家族も将来を憂いては悩み、きっと苦しくなります。苦しいときは、1人や家族だけで思い悩まず、私たちに相談してみてください。ここには、悩んでいる皆さんと同じような悩みを抱えて歩んできた人たちがいます。

相談というと、何か話さなければと思われがちですが、難しく考えず、話さなくても一緒にいることも支援のひとつだと思っています。そして家族でないから、客観的にサポートできることも強みです。

働くことに悩みを抱えている人や家族に、少しでも私たちのようなサポートの声が届くといいです。



がまごおり若者サポートステーション
所長 鈴木法政



がまごおり若者サポートステーション
相談員 手塚美保

私は産業カウンセラーとして、就職活動から職場定着まで全般的な相談を受けています。多い時には1日4件ほど相談があります。

相談に来た中に、就職後あることがきっかけで退職し長く働くことができない状態にあった人がいました。その人は今を変えたいと決心し、勇気をもって1人で相談に来てくれました。「働きたいけれど、不安がいっぱいで…」そうこぼし、最初は浮かない表情でした。ですが、これまでのこと、今のこと、これからのこと、相談を重ねていくことで少しずつ自信がわいてきた様子でした。「大丈夫、あなたならできるよ」、私はそう背中を押し続け、ついに就職することができました。久々の社会人生活ということもあり、週1回、2回と少しずつ馴染んでいきました。その後、勤務先から働きが評価され、フルタイムで働いてほしいと申し出があったようです。この報告を受けたときは私も自分のことのように嬉しくなりました。

就職活動は、孤独との闘いになります。この先どんなことがあるのか、不安になるのは特別なことではありません。まずは、自分と同じような境遇の人がいることを知ってほしいです。

就職氷河期世代向けセミナー



とき 2月27日(土) 午前11時～午後0時30分 対象 35～49歳の方
テーマ キャリア自律の考え方とアフターコロナの働き方 定員 10人

子どもの就職・自立のための親の個別相談会

とき 3月6日(土) 午前11時～午後4時のうち50分程度
対象 おおむね15～49歳の就職・自立に悩む子どもを抱える保護者 定員 4人



【共通事項】申し込み・問合せ先 がまごおり若者サポートステーション(☎67-3201) ※開館時間は(土)～(日)午前11時～午後7時